

自然観察NOW

野幌森林公園自然情報

2009. 4. 23 No. 1

北海道ボランティア・レンジャー協議会

サクラの開花

サクラ前線が北上中で、データによれば札幌圏の開花予想日は5月1日(4月15日 日本気象協会予想)とのことです。ちなみに、昨年の札幌の開花日は4月21日でした。

これからの時期は北国に住む私たちにとって一番すがすがしい季節です。森林公園内のエゾヤマザクラの蕾も、はっきりわかるほど、ぷっくりと膨らんでいます。春爛漫の雰囲気を感じながら森の散策をしましょう。

◆開花標準木

開花の観測対象にしている標準木は全国的にほとんどが品種のソメイヨシノです。北海道では、15ヵ所の観測地がありますが、札幌ではソメイヨシノが標準木です。ソメイヨシノが育たぬ地域はエゾヤマザクラを観測し、根室では寒さに強いチシマザクラを標準木にしています。

◆600℃の法則

毎年2月1日から毎日の最高気温を合計して累計が600℃を超えるとサクラが開花するという600℃の法則があります。また北海道では3月1日からの毎日の最高気温の合計が500℃になると開花するという法則もあります。

さらに、開花から最高気温を合計して100℃になると満開になるという満開までの100℃の法則もあります。

◆自生種

北海道に自生するサクラと名の付くものには、エゾヤマザクラ、チシマザクラ、カスミザクラ、ミヤマザクラ、シウリザクラ、ウワミズザクラ、エゾノウワミズザクラ、シウリザクラなどがあります。エゾヤマザクラは本州などではオオヤマザクラと呼ばれることが多いといえます。

◆サクラの語源

その1 「咲く」という言葉に群がるの略「ラ」からきたという説。

その2 「古事記」では、開栄(さきはえ)で、サカエ(栄)またはサキ(幸)など、栄える、咲き誇るの意味。

その3 うららかに咲くから「咲麗(さきうら)」の訳で、サキウラ=サクラと転じたの説。

5月の観察会予定

◆春のありがとう観察会

5月10日(日) 10:00~14:30 ふれあい交流館集合 (昼食、軍手持参)

恒例のゴミ拾いを兼ねた観察会です。幾つかのコースに分かれて実施します。近年は公園内のマナーもよくなりゴミは多くはありません。その分、春の雰囲気を十分味わいながら散策しましょう。

観察ポイント

◆フクジュソウ

園内のあちこちに咲いていますが、全般的に数を減らしていると言われています。北海道にはフクジュソウ、キタミフクジュソウが分布しています。違いのひとつは、茎に1～4個の花をつけるフクジュソウに対し、キタミフクジュソウは茎に1個の花をつけ道東部に分布しています。

◆ミズバショウ

ミズバショウの花がさいています。雪が解け、すぐに見られる花なので人気ですが、北アメリカではこの仲間をスカンクキャベツなどと呼びます。異臭があるためでしょう。サトイモ科に属しています。サトイモ科のおもな特徴は花が太い肉穂花序で、炎形の仏炎苞でマント式にくるまれていることであり、ミズバショウはこの条件に合致するため、サトイモ科に分類されています。

◆ザゼンソウ

ミズバショウと共にサトイモ科に属します。肉穂花序を包む花びら状のものを仏炎苞といい、肉穂花序を仏に見立てその背後が火炎形の光背に見えることから名付けられました。ザゼンソウの由来は、達磨和尚が座禅を組んでいるような姿からきています。

◆エゾエンゴサク

ケシ科の多年草です。地下に塊茎がありこれを乾燥したものが生薬「延胡索（エンゴサク）」浄血、鎮痛、鎮痙薬として利用しています。エゾエンゴサクは同じ株の花粉では種子がつかれない自家不和合性という性質のため、ハチなどに花粉を運んでもらわなくてはなりません。

◆エゾアカガエル

ふれあい交流館前の溜め池に今年もエゾアカガエルの卵がありますが、水量が少ないためか、あまり多くはありません。北海道特産種で、今から13年ほどまえに新しい学名がつけました。学名はRana pirrika (ラナ・ピリカ) といいます。北海道にふさわしい名前ではないでしょうか。

◆エゾサンショウオ

公園内の水溜まりに螺旋状にとぐろを巻いたエゾサンショウオの卵塊がみられます。雌が卵塊（卵のう）を生むと雄が卵塊にまわりつき体外受精をおこないます。エゾアカガエルの卵との違いを観察しましょう。水底に親がいるかもしれません。よく観察しましょう。

◆ウグイス

ウグイスのさえずりが森の中から聞こえ春がきた感じがします。名前の語源は鳴き声からきているという説や、「うく」は奥、「ひす」は出ずることであり、春になると谷の奥から出てくる鳥という語源説もあります。

地球環境用語

北海道環境スピリッツ

「3つの心」を大切にしよう その1

私たちは「地球を守る心」を大切にします。地球温暖化など地球規模の環境に関心を持ち知恵と技術を活かし地域で行動します。

- ・北海道に豊富に存在する再生可能なエネルギー資源を積極的に取り入れます。
- ・環境にやさしい製品を使い、二酸化炭素を吸収する森林づくり緑づくりに取り組みます。